

本事例の基礎データ

カテゴリ	ICT及び先端技術を活用した指導方法		
学校種	小学校	事例提供者	八王子市立横川小学校
学年	6年生	教科等	特別の教科 道徳
単元名	「修学旅行の夜」【A1 自主、自律、自由と責任】		
主な ICT 機器	・タブレットPC（キーボード付き Chrome OS 機/一人1台）		
授業の概要	Google Jamboard を活用し、意見交流を行う。 Google スライドに考えを書き、意見交流を行う。		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	情報活用	STEP3	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて表現できる。 ・相手や目的に応じて適切に情報の発信・交信ができる。

本事例における教育の情報化について

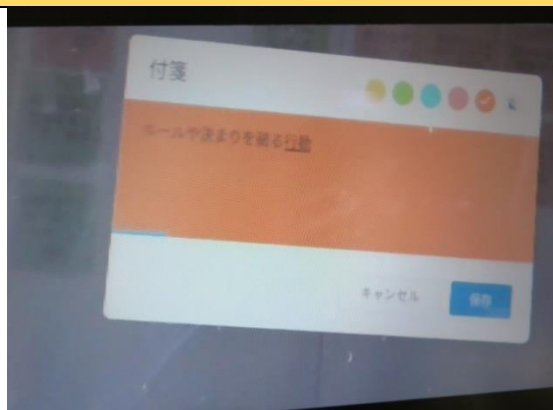
【ポイント1】	対話的な意見交流のツールとしての端末活用 Jamboard やスライドを対話的な意見交流のツールとして活用し、自分の意見を書いた後に、グループで話し合う際の資料として共同編集を行うことが有効である。
【ポイント2】	Jamboard の活用による、対立意見の可視化 児童は付箋に考えを書き込み、それぞれのエリアへ貼り付ける。共同編集で全員の意見が可視化され、自分の考えをまとめ、振り返る材料とすることができる。
【ポイント3】	道徳科における自己の葛藤、考えの深まりを目指す意見交流 対話的で深い学びを実現していく上で、意見交流は欠かせない。個別の考えを全体で共有するには、一人一人の意見を全体で共有するためには、Jamboard やスライドでの共同編集が有効である。

本時の流れ

段階	● 主な学習活動・児童の活動	○ 支援・留意点 ☆ 評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動教室での楽しみについて考える。 ・ 移動教室の楽しみについて、意見を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移動教室への期待感、イメージがわくように発言を促す。
	<p>「修学旅行の夜」の題材を読んで「自由」と「自分勝手」の違いを考えましょう。</p>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自由」と「自分勝手」の違いについて考える。 ・ Jamboard に色の違う付箋に考えを書いて貼る。 ● 「自由」と「自分勝手」の違いについてグループで意見を交流する。 ・ Jamboard に出された意見を見て、他の人の意見を踏まえてグループで意見交流する。 ● 全体で意見交流する。 ・ グループで出された意見をクラス全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自身の行動を振り返り、自分勝手な行為はなかったか考えるよう促す。 ○ Jamboard の付箋に考えを書いて、各自で貼り付けるよう促す。 ○ 机間指導により、児童の活動を個別に支援する。 ○ グループごとにお互いの考えを交流できるように支援する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● Google スライドで振り返りカードを書く。 ・ 自分なりに「自由」と「自分勝手」について自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スライドを共同編集する形で、友達の意見も閲覧できるようにし、参考となるようにする。 ☆ 自由と自分勝手の違いについて考える活動を通して、自律的で責任のある行動について考えようとしている。

授業の実際

【ポイント1】 ●Jamboard を活用する。



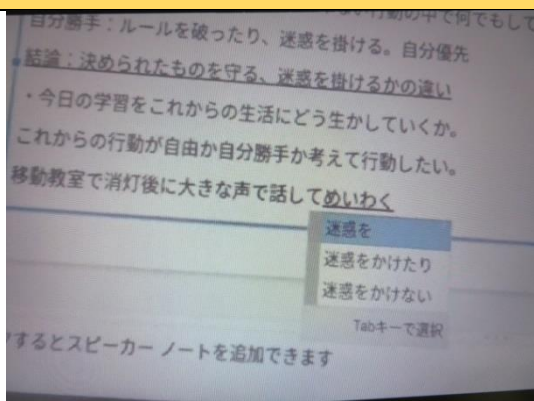
道徳科の授業における気持ちの葛藤場面で、Jamboard の付箋機能は非常に見やすく、色の違いにより対立構造が分かりやすくなる。全員が考えを全体に表すことができることもメリットである。

【ポイント2】 ●Jamboard 画面を拡大投影装置で投影し、意見交流の材料にする。



対立構造を分かりやすく提示できる Jamboard の画面を拡大投影装置で投影することで、意見交流が活発になる。友達の意見を見ながら自分の考えの参考にできる。

【ポイント3】 ●スライドで共同編集する形の振り返りカードを記入する。



振り返りカードをスライドの共同編集という形で、自分の出席番号のページに記入するようにしている。友達の意見を参考にし取り入れることも可能である。

今後に向けて

●対話的で深い学びを実現するためのツールにしていく。

考えを書き込むだけでなく、書き込んだものを材料として効果的な対話活動を行い、さらに個々の考えを深めていけるよう、活用の方、ツールなどを精選していく。

●Jamboard は少人数での意見交流に効果的。

クラス全体だと付箋を貼り切れない場合があるため、6人程度までの活用が効果的である。